

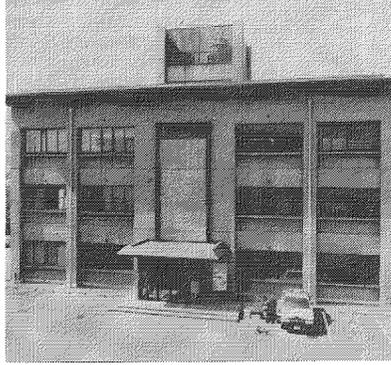


3月1日から7日までは春の全国火災予防運動です。この季節は、大きな火災が起こりやすいものです。火の元には、くれぐれもご注意ください。



警察署に昇格決まる

八幡警部派出所



警察署への昇格が決まった八幡警部派出所

実現は平成5年春

昭和62年11月の市制施行以来の懸案となっていた八幡市域を管轄する警察署の設置が、いよいよ決まりました。現在府議会に提案されている平成3年度の当初予算案に、警察署の本館を増築するための建設費2億5100万円が計上されており、平成5年の春をメドに府警八幡警察署(仮称)が開校される予定です。

府八幡警察署(仮称)が平成3年度の概算事業として、4年度に本館を増築する。現在の府警八幡警部派出所(八幡園内75)の敷地面積は約1000平方メートルで、約2000平方メートルの敷地面積を有する。府の建設当初予算案には建設費約2億5100万円が計上されていますが、総工費は約7億8000万円になる見込みです。

昭和62年11月の市制施行以来の懸案となっていた八幡市域を管轄する警察署の設置が、いよいよ決まりました。現在府議会に提案されている平成3年度の当初予算案に、警察署の本館を増築するための建設費2億5100万円が計上されており、平成5年の春をメドに府警八幡警察署(仮称)が開校される予定です。

府八幡警察署(仮称)が平成3年度の概算事業として、4年度に本館を増築する。現在の府警八幡警部派出所(八幡園内75)の敷地面積は約1000平方メートルで、約2000平方メートルの敷地面積を有する。府の建設当初予算案には建設費約2億5100万円が計上されていますが、総工費は約7億8000万円になる見込みです。

3校同時に改造

校舎など装い新たに

市立和歌山南小学校、市立和歌山北小学校、市立和歌山南小学校の3校が、今年度から校舎の大規模改造工事に着手する。今年度事業の完了後、約10年ぶりに新しい校舎で授業が行われることになる。改造内容は、校舎の全面改修、床の全面更新、照明の更新、放課後児童クラブの設置などである。改造工事は、今年度から順次行われる予定で、今年度は和歌山南小学校の改造工事に着手する。

市立和歌山南小学校、市立和歌山北小学校、市立和歌山南小学校の3校が、今年度から校舎の大規模改造工事に着手する。今年度事業の完了後、約10年ぶりに新しい校舎で授業が行われることになる。改造内容は、校舎の全面改修、床の全面更新、照明の更新、放課後児童クラブの設置などである。改造工事は、今年度から順次行われる予定で、今年度は和歌山南小学校の改造工事に着手する。

市立和歌山南小学校、市立和歌山北小学校、市立和歌山南小学校の3校が、今年度から校舎の大規模改造工事に着手する。今年度事業の完了後、約10年ぶりに新しい校舎で授業が行われることになる。改造内容は、校舎の全面改修、床の全面更新、照明の更新、放課後児童クラブの設置などである。改造工事は、今年度から順次行われる予定で、今年度は和歌山南小学校の改造工事に着手する。

市民図書館を一部改装

4月5日まで休館します

「気軽に親しめる、利用しやすい図書館」を目指して、市民のみならず、市民のみなさんへの図書館サービスに努めている八幡市民図書館は、館内の改装工事と蔵書点検などを行うため、4月5日(金)まで休館します。また、改装工事に伴い自動車庫も休館します。市民図書館は現在、1階が児童図書室、2階が成人図書室、3階が百科辞典や年鑑、行政資料、レコードなどの参考図書室になっており、全蔵書数約14万3千冊のうち参考図書は約9500冊を蔵書しています。改装工事は、3階にある参考図書室の部分と2階の事務室とを入れ替えるもので、成人のみならず、2階で成人図書と参考図書が同時に閲覧、貸し出しできるようになり便利になります。なお3階の集客室はそのままになります。

市民図書館は現在、1階が児童図書室、2階が成人図書室、3階が百科辞典や年鑑、行政資料、レコードなどの参考図書室になっており、全蔵書数約14万3千冊のうち参考図書は約9500冊を蔵書しています。改装工事は、3階にある参考図書室の部分と2階の事務室とを入れ替えるもので、成人のみならず、2階で成人図書と参考図書が同時に閲覧、貸し出しできるようになり便利になります。なお3階の集客室はそのままになります。

市民図書館は現在、1階が児童図書室、2階が成人図書室、3階が百科辞典や年鑑、行政資料、レコードなどの参考図書室になっており、全蔵書数約14万3千冊のうち参考図書は約9500冊を蔵書しています。改装工事は、3階にある参考図書室の部分と2階の事務室とを入れ替えるもので、成人のみならず、2階で成人図書と参考図書が同時に閲覧、貸し出しできるようになり便利になります。なお3階の集客室はそのままになります。

市民図書館は現在、1階が児童図書室、2階が成人図書室、3階が百科辞典や年鑑、行政資料、レコードなどの参考図書室になっており、全蔵書数約14万3千冊のうち参考図書は約9500冊を蔵書しています。改装工事は、3階にある参考図書室の部分と2階の事務室とを入れ替えるもので、成人のみならず、2階で成人図書と参考図書が同時に閲覧、貸し出しできるようになり便利になります。なお3階の集客室はそのままになります。

市民図書館は現在、1階が児童図書室、2階が成人図書室、3階が百科辞典や年鑑、行政資料、レコードなどの参考図書室になっており、全蔵書数約14万3千冊のうち参考図書は約9500冊を蔵書しています。改装工事は、3階にある参考図書室の部分と2階の事務室とを入れ替えるもので、成人のみならず、2階で成人図書と参考図書が同時に閲覧、貸し出しできるようになり便利になります。なお3階の集客室はそのままになります。

視覚障害者のために 広報物を点訳

市内の視覚障害者のために、広報物などを点字に翻訳しているグループがあるのをご存知ですか。昭和64年に発足した八幡市点字サークル(山本敏子会長)は現在、会員が20人。毎月第1水曜日と第3木曜日にみんなが集まって勉強会を開いているほか、文化センターだよりや社協だよりなどを定期的に点訳、また視覚障害者の人から依頼があれば、本なども点訳しています。毎年、市と府視覚障害者協会が共催で行う点訳奉仕員養成講座にも協力参加し、磯部治さんが講師になって奉仕員養成のお手伝いをしています。そして、講座を終了した人が更に練習し、修得した技術を福祉のために役立てようとサークルに加入しています。いろいろな障害を持った人たちが市内にもたくさんおられます。健常者が、福祉の心を育て、ボランティアの輪を更に広げ、それに積極的に参加していくことが大切ではないでしょうか。

市内の視覚障害者のために、広報物などを点字に翻訳しているグループがあるのをご存知ですか。昭和64年に発足した八幡市点字サークル(山本敏子会長)は現在、会員が20人。毎月第1水曜日と第3木曜日にみんなが集まって勉強会を開いているほか、文化センターだよりや社協だよりなどを定期的に点訳、また視覚障害者の人から依頼があれば、本なども点訳しています。毎年、市と府視覚障害者協会が共催で行う点訳奉仕員養成講座にも協力参加し、磯部治さんが講師になって奉仕員養成のお手伝いをしています。そして、講座を終了した人が更に練習し、修得した技術を福祉のために役立てようとサークルに加入しています。いろいろな障害を持った人たちが市内にもたくさんおられます。健常者が、福祉の心を育て、ボランティアの輪を更に広げ、それに積極的に参加していくことが大切ではないでしょうか。

市内の視覚障害者のために、広報物などを点字に翻訳しているグループがあるのをご存知ですか。昭和64年に発足した八幡市点字サークル(山本敏子会長)は現在、会員が20人。毎月第1水曜日と第3木曜日にみんなが集まって勉強会を開いているほか、文化センターだよりや社協だよりなどを定期的に点訳、また視覚障害者の人から依頼があれば、本なども点訳しています。毎年、市と府視覚障害者協会が共催で行う点訳奉仕員養成講座にも協力参加し、磯部治さんが講師になって奉仕員養成のお手伝いをしています。そして、講座を終了した人が更に練習し、修得した技術を福祉のために役立てようとサークルに加入しています。いろいろな障害を持った人たちが市内にもたくさんおられます。健常者が、福祉の心を育て、ボランティアの輪を更に広げ、それに積極的に参加していくことが大切ではないでしょうか。

市内の視覚障害者のために、広報物などを点字に翻訳しているグループがあるのをご存知ですか。昭和64年に発足した八幡市点字サークル(山本敏子会長)は現在、会員が20人。毎月第1水曜日と第3木曜日にみんなが集まって勉強会を開いているほか、文化センターだよりや社協だよりなどを定期的に点訳、また視覚障害者の人から依頼があれば、本なども点訳しています。毎年、市と府視覚障害者協会が共催で行う点訳奉仕員養成講座にも協力参加し、磯部治さんが講師になって奉仕員養成のお手伝いをしています。そして、講座を終了した人が更に練習し、修得した技術を福祉のために役立てようとサークルに加入しています。いろいろな障害を持った人たちが市内にもたくさんおられます。健常者が、福祉の心を育て、ボランティアの輪を更に広げ、それに積極的に参加していくことが大切ではないでしょうか。

市内の視覚障害者のために、広報物などを点字に翻訳しているグループがあるのをご存知ですか。昭和64年に発足した八幡市点字サークル(山本敏子会長)は現在、会員が20人。毎月第1水曜日と第3木曜日にみんなが集まって勉強会を開いているほか、文化センターだよりや社協だよりなどを定期的に点訳、また視覚障害者の人から依頼があれば、本なども点訳しています。毎年、市と府視覚障害者協会が共催で行う点訳奉仕員養成講座にも協力参加し、磯部治さんが講師になって奉仕員養成のお手伝いをしています。そして、講座を終了した人が更に練習し、修得した技術を福祉のために役立てようとサークルに加入しています。いろいろな障害を持った人たちが市内にもたくさんおられます。健常者が、福祉の心を育て、ボランティアの輪を更に広げ、それに積極的に参加していくことが大切ではないでしょうか。

流れ橋が復旧

真新しい橋板が登場

昨年9月の台風による増水で流された流れ橋(正)は、今年2月に復旧しました。復旧した流れ橋は、真新しい橋板が敷き詰められています。また、橋の両側に、新しい照明が取り付けられています。復旧した流れ橋は、市民の生活に大いに貢献しています。

昨年9月の台風による増水で流された流れ橋(正)は、今年2月に復旧しました。復旧した流れ橋は、真新しい橋板が敷き詰められています。また、橋の両側に、新しい照明が取り付けられています。復旧した流れ橋は、市民の生活に大いに貢献しています。

昨年9月の台風による増水で流された流れ橋(正)は、今年2月に復旧しました。復旧した流れ橋は、真新しい橋板が敷き詰められています。また、橋の両側に、新しい照明が取り付けられています。復旧した流れ橋は、市民の生活に大いに貢献しています。

障害者が気軽にスポーツを

市民体育館を無料開放

市民体育館を無料で開放し、障害者が気軽にスポーツを楽しむことができます。市民体育館は、市民の健康増進とスポーツの普及を目的として、市民の生活に大いに貢献しています。

市民体育館を無料で開放し、障害者が気軽にスポーツを楽しむことができます。市民体育館は、市民の健康増進とスポーツの普及を目的として、市民の生活に大いに貢献しています。

市民体育館を無料で開放し、障害者が気軽にスポーツを楽しむことができます。市民体育館は、市民の健康増進とスポーツの普及を目的として、市民の生活に大いに貢献しています。

市長の手帳から

市長の手帳から、市民の生活や市の発展について、市長の思いや願いが伝わります。市長の手帳は、市民の生活や市の発展について、市長の思いや願いが伝わります。

市長の手帳から、市民の生活や市の発展について、市長の思いや願いが伝わります。市長の手帳は、市民の生活や市の発展について、市長の思いや願いが伝わります。

市長の手帳から、市民の生活や市の発展について、市長の思いや願いが伝わります。市長の手帳は、市民の生活や市の発展について、市長の思いや願いが伝わります。

Zoom in

市内の視覚障害者のために、広報物などを点字に翻訳しているグループがあるのをご存知ですか。昭和64年に発足した八幡市点字サークル(山本敏子会長)は現在、会員が20人。毎月第1水曜日と第3木曜日にみんなが集まって勉強会を開いているほか、文化センターだよりや社協だよりなどを定期的に点訳、また視覚障害者の人から依頼があれば、本なども点訳しています。毎年、市と府視覚障害者協会が共催で行う点訳奉仕員養成講座にも協力参加し、磯部治さんが講師になって奉仕員養成のお手伝いをしています。そして、講座を終了した人が更に練習し、修得した技術を福祉のために役立てようとサークルに加入しています。いろいろな障害を持った人たちが市内にもたくさんおられます。健常者が、福祉の心を育て、ボランティアの輪を更に広げ、それに積極的に参加していくことが大切ではないでしょうか。

市内の視覚障害者のために、広報物などを点字に翻訳しているグループがあるのをご存知ですか。昭和64年に発足した八幡市点字サークル(山本敏子会長)は現在、会員が20人。毎月第1水曜日と第3木曜日にみんなが集まって勉強会を開いているほか、文化センターだよりや社協だよりなどを定期的に点訳、また視覚障害者の人から依頼があれば、本なども点訳しています。毎年、市と府視覚障害者協会が共催で行う点訳奉仕員養成講座にも協力参加し、磯部治さんが講師になって奉仕員養成のお手伝いをしています。そして、講座を終了した人が更に練習し、修得した技術を福祉のために役立てようとサークルに加入しています。いろいろな障害を持った人たちが市内にもたくさんおられます。健常者が、福祉の心を育て、ボランティアの輪を更に広げ、それに積極的に参加していくことが大切ではないでしょうか。

市内の視覚障害者のために、広報物などを点字に翻訳しているグループがあるのをご存知ですか。昭和64年に発足した八幡市点字サークル(山本敏子会長)は現在、会員が20人。毎月第1水曜日と第3木曜日にみんなが集まって勉強会を開いているほか、文化センターだよりや社協だよりなどを定期的に点訳、また視覚障害者の人から依頼があれば、本なども点訳しています。毎年、市と府視覚障害者協会が共催で行う点訳奉仕員養成講座にも協力参加し、磯部治さんが講師になって奉仕員養成のお手伝いをしています。そして、講座を終了した人が更に練習し、修得した技術を福祉のために役立てようとサークルに加入しています。いろいろな障害を持った人たちが市内にもたくさんおられます。健常者が、福祉の心を育て、ボランティアの輪を更に広げ、それに積極的に参加していくことが大切ではないでしょうか。

市内の視覚障害者のために、広報物などを点字に翻訳しているグループがあるのをご存知ですか。昭和64年に発足した八幡市点字サークル(山本敏子会長)は現在、会員が20人。毎月第1水曜日と第3木曜日にみんなが集まって勉強会を開いているほか、文化センターだよりや社協だよりなどを定期的に点訳、また視覚障害者の人から依頼があれば、本なども点訳しています。毎年、市と府視覚障害者協会が共催で行う点訳奉仕員養成講座にも協力参加し、磯部治さんが講師になって奉仕員養成のお手伝いをしています。そして、講座を終了した人が更に練習し、修得した技術を福祉のために役立てようとサークルに加入しています。いろいろな障害を持った人たちが市内にもたくさんおられます。健常者が、福祉の心を育て、ボランティアの輪を更に広げ、それに積極的に参加していくことが大切ではないでしょうか。

市内の視覚障害者のために、広報物などを点字に翻訳しているグループがあるのをご存知ですか。昭和64年に発足した八幡市点字サークル(山本敏子会長)は現在、会員が20人。毎月第1水曜日と第3木曜日にみんなが集まって勉強会を開いているほか、文化センターだよりや社協だよりなどを定期的に点訳、また視覚障害者の人から依頼があれば、本なども点訳しています。毎年、市と府視覚障害者協会が共催で行う点訳奉仕員養成講座にも協力参加し、磯部治さんが講師になって奉仕員養成のお手伝いをしています。そして、講座を終了した人が更に練習し、修得した技術を福祉のために役立てようとサークルに加入しています。いろいろな障害を持った人たちが市内にもたくさんおられます。健常者が、福祉の心を育て、ボランティアの輪を更に広げ、それに積極的に参加していくことが大切ではないでしょうか。

市所有の土地を競売

市では、市所有土地を次の要領で競売します。競売土地及び入札日時

所在地	地目	地積	用途地域	入札日時
八幡市八幡	宅地	760.49㎡	住居地域	平成3年3月15日 午前10時00分
八幡市山	宅地	279.00㎡	第2種住居	平成3年3月15日 午後1時30分
八幡市山	宅地	301.96㎡	第2種住居	平成3年3月15日 午後2時30分

競売土地の資料の縦覧期間 3月1日(金)から3月12日(火)まで(平日は午前9時から正午までと午後1時から4時30分まで、土曜日は午前9時から正午まで、日曜と第2土曜は除く) 入札の申し込み受付期間 3月5日(火)から3月14日(木)まで(平日は午前9時から正午までと午後1時から4時30分まで、土曜日は午前9時から正午まで、日曜と第2土曜は除く) 縦覧及び申し込み受付場所・お問い合わせ 八幡市総務部総務課 (☎983-1111内線376)へ

競売土地の資料の縦覧期間 3月1日(金)から3月12日(火)まで(平日は午前9時から正午までと午後1時から4時30分まで、土曜日は午前9時から正午まで、日曜と第2土曜は除く) 入札の申し込み受付期間 3月5日(火)から3月14日(木)まで(平日は午前9時から正午までと午後1時から4時30分まで、土曜日は午前9時から正午まで、日曜と第2土曜は除く) 縦覧及び申し込み受付場所・お問い合わせ 八幡市総務部総務課 (☎983-1111内線376)へ

競売土地の資料の縦覧期間 3月1日(金)から3月12日(火)まで(平日は午前9時から正午までと午後1時から4時30分まで、土曜日は午前9時から正午まで、日曜と第2土曜は除く) 入札の申し込み受付期間 3月5日(火)から3月14日(木)まで(平日は午前9時から正午までと午後1時から4時30分まで、土曜日は午前9時から正午まで、日曜と第2土曜は除く) 縦覧及び申し込み受付場所・お問い合わせ 八幡市総務部総務課 (☎983-1111内線376)へ

人ある限り人権を

新屋英子・一人芝居 「ヒミコ伝説」 3月13日(水) 入場無料

プロフィール 1928年生まれ。舞台俳優。1957年劇団関西芸術座を創立。「身代打」をはじめ「チョゴリ」を着た被爆者など8本のひとり芝居で全国巡演中。

プロフィール 1931年生まれ。ジャーナリスト。新聞記者時代に戦争反対と差別反対を2本の柱とし活発に活動。退社後、1987年に「黒田ジャーナル」を創立。

黒田清 人間を語る 3月20日(水) 入場無料 市文化センター小ホールで午後2時から

第11期八幡市同和問題市民講座 八幡市教育委員会

観光やわた写真撮影会

市観光協会では、写真を通じて市内の観光資源の価値を再発見し、その認識を深めようとする「第1回観光やわた写真撮影会」を次のとおり開催します。また、当日の撮影写真による作品コンテストも実施します。多数ご参加ください。

【撮影会】 日時 3月24日(日)午前9時30分から正午まで(雨天中止、受付は午前9時から9時30分まで) 集合・撮影場所 松花堂(八幡女館779-1) 参加資格 年齢、性別、市内外は問わず 参加費 300円(当日持参) 撮影対象 松花堂内の風景全般 撮影指導 田辺聖浩氏(写真家)

【作品コンテスト】 写真規格 カラープリント四切以上で、必ずパネル加工し、裏面に住所、氏名、タイトルを貼付 応募数 1人2点以内(返却しません) 応募期間 4月1日(月)から4月12日(金)まで 提出先 八幡市観光協会事務局(八幡市八幡園内75、八幡市産業部商工観光課内)へ郵送か持参 作品展示 4月27日、28日に市文化センター展示室で展示

お問い合わせ 詳しくは市観光協会事務局(☎983-1111内線328)へ

市観光協会では、写真を通じて市内の観光資源の価値を再発見し、その認識を深めようとする「第1回観光やわた写真撮影会」を次のとおり開催します。また、当日の撮影写真による作品コンテストも実施します。多数ご参加ください。

